



国立大学法人

長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

プレスリリース

平成23年 2月16日

長崎大学熱帯医学研究所 市民公開特別講座

「地球・人類の将来と感染症—エコヘルスの視点—」

日本では、戦後の経済発展とともに生活環境が改善され、生活状況・医療サービスも良くなりました。その結果公害による健康被害や感染症が減少し、寿命が急速に延長しました。しかし、地球全体を見渡せば、新興国では環境は悪化し、途上国では感染症が蔓延し、日本もその影響から逃れることはできません。

長崎、日本、世界、地球を考えたとき、私たちはどのような行動をとれば良いのでしょうか？そのヒントとして環境と生活と健康を一体として捉える「エコヘルス」という考えをご紹介します。

日時 平成23年 3月 3日（木）19：00～20：30

演題 「地球・人類の将来と感染症—エコヘルスの視点—」

講演者 総合地球環境学研究所教授 ^{モジカズヒコ} 門司和彦先生

場所 長崎市立図書館新興善メモリアルホール（1階）

（〒850-0032 長崎市興善町1-1）

受講料 入場無料

〔問い合わせ先〕 長崎大学熱帯医学研究所

電話：095-819-7813

（受付時間 平日8：45～17：30）



地球・人類の将来と感染症 —エコヘルスの視点—

日本では、戦後の経済発展とともに生活環境が改善され、生活状況・医療サービスも良くなりました。その結果公害による健康被害や感染症が減少し、寿命が急速に延長しました。しかし、地球全体を見渡せば、新興国では環境は悪化し、途上国では感染症が蔓延し、日本もその影響から逃れることはできません。長崎、日本、世界、地球を考えたとき、私たちはどのような行動をとれば良いのでしょうか？そのヒントとして環境と生活と健康を一体として捉える「エコヘルス」という考えをご紹介します。



日時：平成 23 年 3 月 3 日(木)
午後 7 時～ 8 時 30 分

会場：長崎市立図書館 新興善メモリアルホール
(〒850-0032 長崎市興善町 1-1)

問い合わせ：長崎大学熱帯医学研究所 095-819-7813



■ 講師：門司 和彦 (もじ かずひこ)
総合地球環境学研究所・教授

■ 専門：人類生態学・熱帯公衆衛生学